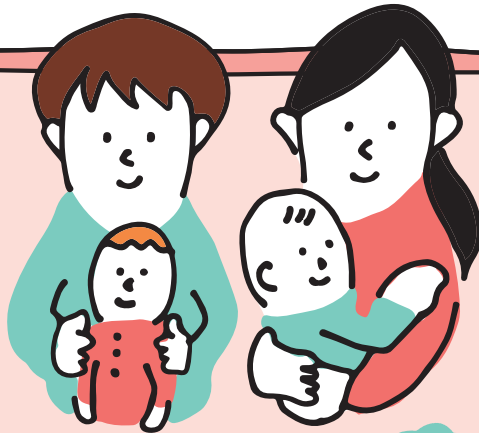


風評を生まないために

子どものために  
知っておきたい  
放射線のはなし



復興庁

Reconstruction Agency

復興・創生 その先へ

# 放射線のはなし

妊娠中って、  
いろんな健康情報に敏感になっちゃうなあ…



食事や運動、お薬に感染症対策…  
いろいろ心配が多いよね。



そういえば、レントゲンとかの  
検査は受けても大丈夫なのかな？  
放射線が使われているって  
聞いたことがあるんだけど。



## 解説



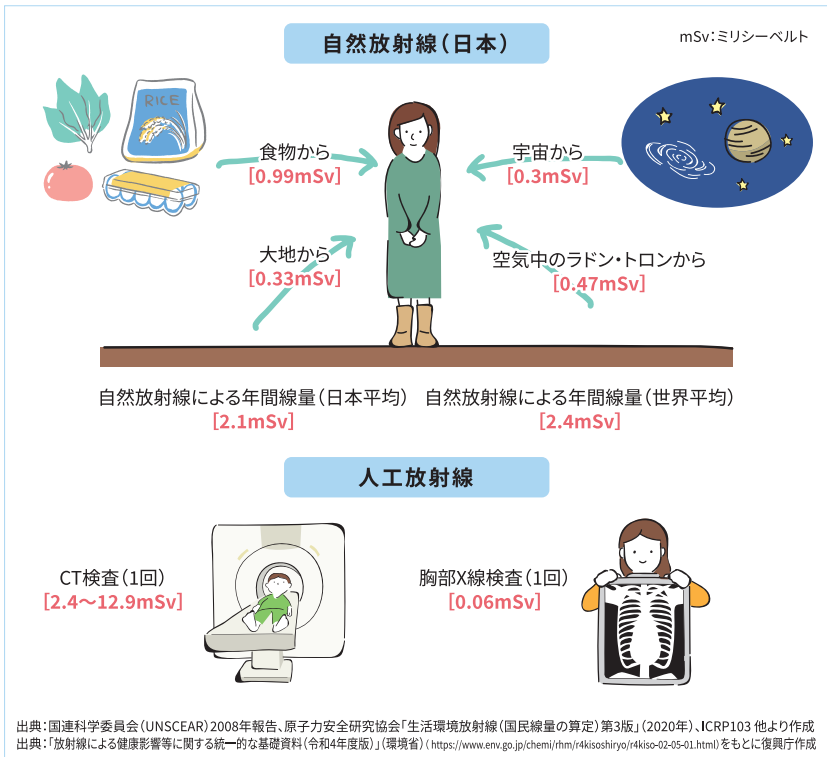
放射線はレントゲン検査をはじめとする医療に使われるほか、私たちは、大地、空気、食べ物などから、日常的に放射線を受けています。

こうした放射線が、生まれてくる赤ちゃんの健康に影響を与えることはありません。

## 放射線についての Q&A

Q. 放射線ってどんなもの？

A. 放射線は、物質を突き抜ける力を持つ光で、目には見えません。その力を活かして、X線（レントゲン）撮影などの医療行為にも活用されています。また、私たちは日常的に、宇宙からの放射線、空気中のラドンから出る放射線などの自然放射線を受けています。



Q. 放射線がお母さんや赤ちゃんの健康に影響を与えることはないの？

A. 放射線の健康への影響は、放射線のある・なしではなく、受ける放射線の「量」が問題となります。100mSv以上の放射線を受けると、発がんリスクが増加することなどが知られていますが、病院での検査によるものや自然の放射線は、極わずかなので健康への影響はありません。また、放射線による健康への影響が、生まれてくる子どもや孫に遺伝することはありません。

# 原発事故後の食品の安全性

妊娠中もそうだけど、赤ちゃんが生まれてからも食べ物には気を使うわね。



そうね。  
できるだけ安全なものを口にしたいわね。



放射線が食品の安全に  
影響を与えることはないのかしら？



## 解説



2011年3月の東日本大震災では、東京電力福島第一原子力発電所事故が発生しました。

事故による放射線の影響について、食品の安全に不安を感じる方もいらっしゃるかもしれませんが、厳格な検査が行われており、売り場に出るものは安全です。

また、事故による放射線の影響に関する誤解が風評を生むこともあります。原子力災害の被災地の復興を進めるためには、理解を広げて、風評の影響を払拭することが大切です。

## 食品の安全性についての Q&A

Q. 私たちがふだん口にしている食べ物は安心して食べていいの？

A. 日本は非常に厳しいレベルの放射性物質の基準を設定して食品や飲料水の検査をしており、**基準を超えた場合は売り場に出ないようになっています。**  
 原発事故の影響を受けた福島県でも、現在、基準を超えているものはほとんどありません。

### 食品の基準値






単位: Bq/kg

核種	日本	CODEX(国際基準)	EU	米国	
放射性セシウム (134Cs、137Cs)	飲料水	10	飲料水	1,000	
	牛乳	50	乳製品	1,000	
	乳児用食品	50	乳児用食品	400	
	一般食品	100	一般食品	1,250	
				全ての食品	1,250

出典:「放射線リスクに関する基礎的情報(2023年1月 第13版)」([https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-1/20230331\\_kisoteki\\_jouhou13.pdf](https://www.reconstruction.go.jp/topics/main-cat1/sub-cat1-1/20230331_kisoteki_jouhou13.pdf))

注) これらの数値は、食品から受ける線量を一定レベル以下に管理するためのものであり、安全と危険の境目ではありません。

### 福島県による農林水産物のモニタリング検査の結果(2023年1月1日～2023年11月30日)

種別	検査点数	基準値超過数	超過数割合
野菜 	1,128点	0点	—
果実 	379点	0点	—
畜産物 	1,621点	0点	—
山菜・きのこ 	942点	0点	—
魚介類 	3,919点	0点	—

出典:「福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報」(<https://www.new-fukushima.jp/>)をもとに復興庁作成

注) 記載のデータは2023年12月5日時点のものです。

注) 記載のデータは「出荷・販売用の品目を対象に実施した検査」と「出荷制限等品目の解除に向けた検査」の結果の合算数値です。

### 米の全量全袋検査の結果(2022年9月7日～2023年7月3日)

種別	検査点数	基準値超過数	超過数割合
玄米(2022年度産) 	274,893点	0点	—

出典:「ふくしまの恵み安全対策協議会HP」(<http://fukumegu.org/ok/contentsv2/index.html>)をもとに復興庁作成

注) 記載のデータは2023年12月5日時点のものです。

福島県による農林水産物の放射性物質の検査結果はこちら

福島県農林水産物・加工食品モニタリング情報 <https://www.new-fukushima.jp>



# 原発事故による影響

食品が安全だということは分かったけど、東日本大震災から10年以上経ってもまだ原発事故の影響は残っているのかしら？



先日、テレビで避難先からふるさとに戻って生活を始めた方のニュースを見たわ。



事故の影響や現状を知って、みんなで被災地の復興を応援していきたいわね。

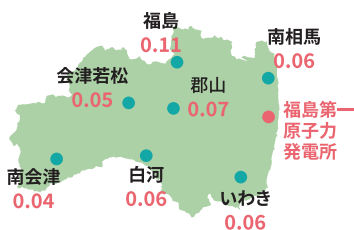


## 原発事故による影響についての Q&A

**Q.** 今では、原発事故の放射線の影響があった地域を訪れても安全なの？

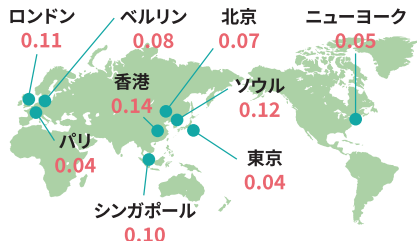
**A.** 事故後、放射線の量は大幅に低下しました。今では、ごく一部の地域を除き、安全に訪れることができます。

### 福島県



令和5年9月の平均値

### 世界



パリ:平成29年10月15日  
北京・ソウル:令和元年9月24日  
東京:令和5年9月の平均値

ロンドン:平成30年1月24日  
シンガポール:令和元年9月26日

ニューヨーク:平成31年1月18日  
ベルリン・香港:令和元年9月27日現在

単位:マイクロシーベルト/時

出典:日本政府観光局、原子力規制委員会「放射線モニタリング情報共有・公表システム」、福島県災害対策本部(暫定値)をもとに復興庁作成

Q. 原発事故の放射線によって、周辺に住んでいた人々の健康に影響は？

A. 原発事故の放射線を受けたことによって、**健康に影響が出た人はいません。**  
また、事故当時にお母さんのおなかにいた子どもの先天性の障害の発生率なども、**他の地域の子どもと変わりません。**

Q. 将来的に何か健康に影響が起こる可能性はないの？

A. 周辺に住んでいた人々が受けた放射線量に関する調査などの結果、原発事故の放射線を受けたことによって、**将来的に何か健康影響がみられることはないと考えられています。**

原子放射線の影響に関する国連科学委員会の報告書(2013年報告書、2017年白書、2020/2021年報告書)では、

- 放射線被ばくが直接の原因となるような将来的な健康影響は見られそうにない。
- 福島県では、考慮したいかなる年齢層においても、放射線被ばくによる甲状腺がんの過剰リスクはおそらく識別できないだろう。

- 注)
- 妊娠中の被ばくによる、自然流産、その他の流産、周期的死亡率、出生時異常または認知障害の発生率が上昇することはないと考えられる。
  - 被ばくした人の子孫に遺伝的な疾患が増加することはないと考えられる。
- と評価されています。

## ALPS処理水について

ALPS処理水とは、東京電力福島第一原子力発電所の建屋内にある放射性物質を含む水について、トリチウム以外の放射性物質を、安全基準を満たすまで浄化した水のことで、トリチウムについても安全基準を十分に満たすよう海水で大幅に薄めてから放出します。



## 放射線による人体への影響について

国際的な基準・ガイドラインに沿って、海洋放出による人体への影響を評価しています。その影響は、日常受けている放射線(自然放射線)からの影響と比べ無視できるほどです。

## モニタリング検査の実施

放出後、関係機関で、海水、水産物のモニタリングを行っており、これまで計画どおり安全に放出できていることが確認されています。

モニタリング検査の結果は速やかに公開しています。ぜひ一度ご覧ください。

[最新のモニタリング結果はこちら](#)

[環境省 ALPS処理水に係る海域モニタリング情報](#)



「放射線の基礎知識」や  
「福島は今」について  
詳しく知りたい方はこちら！

復興庁 福島は今



「福島  
の今」を  
知ることが  
できますよ



動画などで  
わかりやすく